

# 農 研 速 報

平成 27 年 8 月 3 日発行  
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(7月24日現在, 龍ヶ崎市)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	問 題 点	備 考
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	<p>タチナガハ 第 9 本葉 展開期</p> <p>納豆小粒 第 10 本葉 展開期</p> <p>里のほほえみ 第 9 本葉 展開期</p>	<p>遅い</p> <p>遅い</p>	<p>龍ヶ崎における, 7 月第 1 半旬～第 5 半旬の気象および大豆の生育概況は, 下記のとおりである。</p> <p>【気象】 気温: 第 2 半旬までは平年より 3.7℃ 低く推移したが, 第 3 半旬以降は 1.6℃ 高く推移している。 降水量: 第 1, 第 2 半旬は平年比 353% とかなり多くなったが(7 月 3 日に 53.5mm), 第 3 半旬以降はやや少なめに推移している。 日照時間: 第 1, 第 2 半旬は雨天のため平年比 14% と少なくなったが, 第 3 半旬以降は平年比 133% と多く推移している。</p> <p>【生育】 7 月第 1, 第 2 半旬の低温および日照不足により生育ステージは平年よりやや遅い。</p> <p>地上部の生育は, 全ての調査項目において, 平年より下回った。特に, 分枝数と地上部生体重は, 平年を大きく下回った。分枝数の低下については, 第 1, 第 2 半旬の低温が影響したと思われる。</p> <p>現在の生育状況は表および図 1 のとおりである。</p>	特になし	<p>●中耕・培土●</p> <p>・1 回目を第 4 本葉展開期である 7 月 15 日に, 子葉節まで実施した。昨年は, 第 4 本葉展開期の 7 月 8 日に実施した。</p> <p>○紫斑病及び英害虫の発生に注意し, 適期防除に努める。</p> <p>○開花期以降の水分不足は着莢数の減少につながるため, 必要な場合は灌水を行う。</p> <p>○病害虫の発生予察については, 病害虫防除所のホームページを参照する。 ( <a href="http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/">http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/</a> )</p>

表 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市，水田利用研究室 7月24日調査）

品 種	主茎長			主茎節数			茎の太さ			分枝数			地上部生体重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	24.9	58 (43.2)	73 (34.3)	8.7	78 (11.2)	81 (10.7)	5.8	76 (7.6)	88 (6.6)	0.5	14 (3.6)	28 (1.8)	25.5	30 (83.9)	47 (54.1)
納豆小粒	23.4	55 (42.9)	72 (32.3)	9.2	79 (11.7)	83 (11.1)	5.0	66 (7.6)	78 (6.4)	0.8	17 (4.7)	31 (2.6)	17.0	20 (83.6)	35 (48.4)
里のほほえみ	28.1	—	—	8.7	—	—	7.5	—	—	0.4	—	—	31.4	—	—

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作麦類）
- 2) 播種日：6月18日
- 3) 栽植密度：11.1株（畦間60cm×株間15cm）1本立て
- 4) 施肥量：N－P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>－K<sub>2</sub>O：0.3－1.2－1.2（kg/a）

【平年値】

- 1) 平年値は平成21年～23年，平成25年，26年の5ヵ年分の平均値（平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外）。  
「里のほほえみ」については，平成27年播種からのため，前年値および平年値はなし。
- 2) （ ）内は前年値または平年値。

【注意】

- 1) 茎の太さは第1節（子葉節）と第2節（初生葉節）の中間で最も太い部分を測定。
- 2) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ。



写真 1 所内大豆の生育状況（7月24日撮影，左からタチナガハ，納豆小粒，里のほほえみ）